



平成28年2月3日

各 位

上場会社名 ダイナパック株式会社  
 代表者 代表取締役社長 杉山喜久雄  
 (コード番号 3947)  
 問合せ先責任者 執行役員経営企画室長 草野 雅夫  
 (TEL 052-971-2651)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年7月31日に公表しました平成27年12月期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,000	750	1,000	900	18.22
今回修正予想(B)	46,000	600	900	700	14.17
増減額(B-A)	△2,000	△150	△100	△200	
増減率(%)	△4.2	△20.0	△10.0	△22.2	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	46,834	488	829	△230	△4.67

平成27年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,500	300	580	640	12.96
今回修正予想(B)	34,500	100	350	90	1.82
増減額(B-A)	△1,000	△200	△230	△550	
増減率(%)	△2.8	△66.7	△39.7	△85.9	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	34,640	△75	321	△626	△12.69

修正の理由

(平成27年12月期通期の連結業績予想)

営業利益につきましては、海外事業および国内の印刷紙器事業で増収となりましたが、主力である段ボール製品の販売が伸び悩んだため、予測を下回りました。

経常利益および当期純利益の減少につきましては、営業利益の減少を受けたことによるものであります。

(平成27年12月期通期の個別業績予想)

営業利益につきましては、印刷紙器をはじめ、段ボール外製品の販売は堅調であったものの、主力の段ボール製品が当初の予測を下回ったことが主な要因であります。また、主原材料費および運搬費等の高止まりによる製造コストの増加を、工場内部の合理化と、製品価格の改定にて吸収することに努めてまいりましたが、全てを吸収することはできませんでした。

経常利益の減少につきましては、営業利益の減少を受けたことによるものであります。

当期純利益の減少につきましては、経常利益の減少に加え、当社の連結子会社である、Dynapac(M)Sdn.Bhd.およびDynapac Packaging Technology(Philippines)Inc.の株式について、両社の業績の状況等を勘案した結果、実質価額が著しく低下しているため、関係会社株式評価損2億35百万円を特別損失に計上したことなどによるものであります。

ご注意:本資料に記載しております業績に関する予想数値は、いずれも本資料の発表日現在において入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合があります。

以上